

平成27年6月15日～6月21日までの全国の暑さ指数（WBGT）の観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について （お知らせ）（平成27年度第6報）

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について、今年度は、5月13日(水)から情報提供を開始したところです。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約150地点について、過去1週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症による救急搬送者数との関係について、定期的に情報提供を行うことといたしました。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 先週（6月15日～6月21日）の全国の暑さ指数の観測状況について

暑さ指数31℃以上（危険）の時間数（168時間中）

1. 石垣島（沖縄県）	48時間
2. 与那国島（沖縄県）	44時間
3. 宮古島（沖縄県）	39時間
4. 久米島（沖縄県）	34時間
5. 南大東島（沖縄県）	30時間

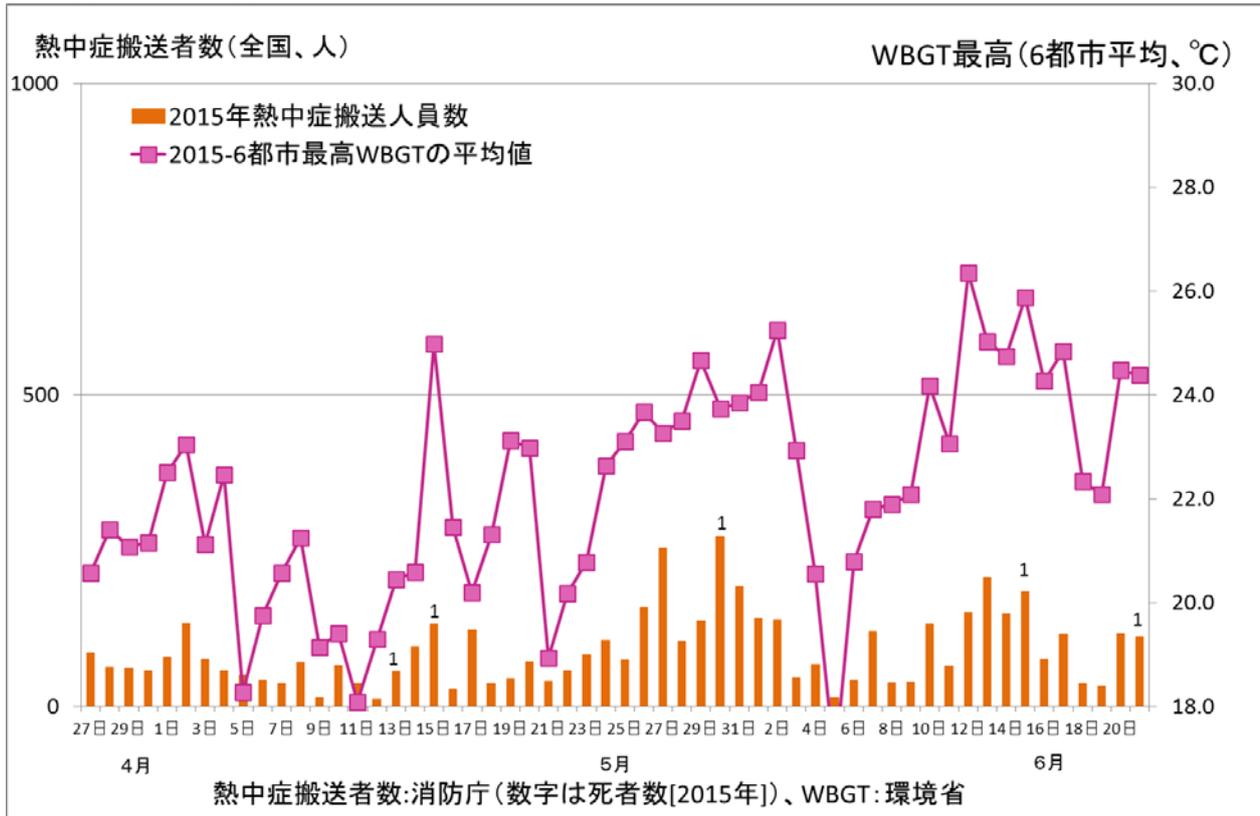
<参考>全国9都市の観測地点

札幌（北海道）	0時間
仙台（宮城県）	0時間
新潟（新潟県）	0時間
東京（東京都）	0時間
名古屋（愛知県）	0時間
大阪（大阪府）	0時間
広島（広島県）	0時間
福岡（福岡県）	0時間
鹿児島（鹿児島県）	0時間

- (注1) 暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。
(注2) 暑さ指数31℃以上の時間数は、今回の調査では、石垣島の37時間が最多で、153地点のうち9地点で暑さ指数31℃以上の時間がありました。なお、暑さ指数31℃以上とは、(公財)日本体育協会の指針において、運動は原則中止レベルです。

3. 6都市の暑さ指数と熱中症による救急搬送者数（全国）との関係

6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



○ 6都市平均の日最高暑さ指数(WBGT)は、6月15日～21日までの期間は22～26°Cで、熱中症による救急搬送者数は、消防庁発表の速報によると、32～185名とやや多い水準になっています。

○ 沖縄県では、梅雨明け以降の高温が継続し、15日から21日までの期間を通して、昼間の日最高暑さ指数(WBGT)が熱中症の危険度の「危険」を示すWBGT31°C前後で推移し、熱中症に厳重な警戒が必要な状態になっています。

○ 気象庁発表（6月24日11時時点）の週間天気予報では、最高気温・最低気温ともに、北日本と東日本では平年並か平年より高いところが多いですが、期間の中頃には平年より低い所もある見込みです。西日本では、平年並か平年より低い日が多いですが、期間の前半は平年より高い日もあるでしょう。沖縄・奄美では平年並か平年より高く、平年よりかなり高いところもある見込みです。

○ 沖縄県では梅雨が明け、熱中症に厳重な警戒が必要です。また、そのほかの地方は梅雨の地域が多く、湿度が高く熱中症が発生しやすくなっています。無理な作業や運動をせず、こまめに水分補給や休息をとるなど、体調管理に注意してください。

(注) 6都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。

6都市：東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡